



③游篠溪「漢詩を読む女性」(フリーア美術館蔵)



懐徳堂

令和二年度

古曲講座

知るよろこび、
学ぶたのしみ、
心へのこころとき。



④福王雪岑画(道成寺)
(18世紀、神戸女子大学古典芸能研究センター所蔵「能狂言画卷」より)



④左に同じ

四月開講
受講生募集

二月より
受付開始

- ◆ 講座内容
- ◆ 能の名作を読む
- ◆ 『太平記』の名場面を読む
— 後醍醐天皇の死去から
足利直義の出家まで —
- ◆ 『日本書紀』を読む
- ◆ 大坂の漢詩を読む
- ◆ 諸子百家を読む
— ささまざまな孔子像 —
- ◆ 論語を読む



⑤仁徳天皇陵古墳(堺市提供)

申込・受講料について

ホームページにて日程をご確認いただけます。 URL <http://www.let.osaka-u.ac.jp/kaitokudo/>

	受講料(一般)	受講料(会員)
1コースにつき	¥18,000	¥12,000

備考: 受講料は半期単位での分割納入(会員6,000円・非会員9,000円)が可能です。

*原則開講月: (前期) 4~7月 / (後期) 9~12月
各講座の開講日および2週間前までに受講票をお送りいたします。

ご入会のお願い

受講ご希望の方は、この機会に是非ご入会の上、
会員特典をご利用下さい。
年度会費 [一般・賛助] 3,000円・10,000円

- 特典1. 年3回(4・9・2月)会報『記念会だより』お届け
- 特典2. 年1回(2月)雑誌『懐徳』お届け
- 特典3. 各種講座・講演会に割引または無料にて優先的に参加できます。



TEL、メール、ハガキにて
事務局までお申込み下さい。
土・日・祝日は閉室しております。

(財)懐徳堂記念会事務局 〒560-8532 豊中市待兼山町1-5(大阪大学文学部内)
TEL(06)6843-4830 E-mail kaitokudo@let.osaka-u.ac.jp

令和2年度 懐徳堂古典講座 全6コース コースNo.と要旨

Aコース 会場:大阪大学中之島センター 時間:18:00~19:30

コースNo.	能の名作を読む(承前) 講師:天野 文雄 先生(京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・大阪大学名誉教授)(原則第1水曜日)
A-1	<p>長年、能の研究に携わって来て、最近つくづく思うのは、能の観客が著しく謡、舞、演技というパフォーマンスにかたよっていて、作品のテーマやテーマを支える趣向や文辞への関心が総じて低いという現実です。それを象徴しているのが、理解しがたい能の詞章を揶揄した「綴れ錦」という言葉です。もちろん、能の詞章は「綴れ錦」ではありません。詞章に関心を持たずに能を観ることは、能という象徴性の高い詩劇の半分を見落とすこととなります。「目智相応」、これは世阿弥が理想的な観客の条件としていることです。この講座では、「目(パフォーマンス)」と「智(詞章の分析)」の双方に留意しつつ、能の名作8曲を読むことにします。</p>
A-2	<p>『太平記』の名場面を読む 一後醍醐天皇の死去から足利直義の出家まで一 講師:勢田 道生 先生(大阪大学准教授)(原則第4月曜日)</p> <p>『太平記』は鎌倉時代末期から南北朝時代の動乱を描いた全四十巻の長大な作品で、後世の人々の歴史観にも大きな影響を与えました。本講座では、『太平記』のうち、後醍醐天皇の死去から足利直義の出家までの部分について、名場面を読みながら、動乱の時代の人々の生きざまや、彼らに向けられる『太平記』作者の目線について考えていきます。四條畷の戦いや観応の擾乱といった歴史的に有名な場面のほか、足利方の武士たちの驕りや狼藉、南朝方の怨霊の登場など、『太平記』ならではの有名なエピソードも楽しんでいただければと思います。</p>
A-3	<p>講師:市 大樹 先生(大阪大学准教授)、上田 直弥 先生(大阪大学埋蔵文化財調査室助教) 高橋 照彦 先生(大阪大学教授)、若井 敏明 先生(関西大学等非常勤講師) によるリレー形式。(原則第4金曜日)</p> <p>『日本書紀』は、天地の始まりから持統天皇の時代までを、正式な漢文体を使って年代順に記した歴史書です。天武天皇の時代から編纂作業が本格化し、約40年後の養老4年(720)に完成しました。そうです、2020年は『日本書紀』誕生1300年の節目にあたります。それを記念して、文献史学・考古学の立場から『日本書紀』を読み説き、日本古代国家の成立過程に迫ることを目的とする、本講座を立ち上げることにしました。2019年に大阪府の百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録されたこともあり、今回は仁徳紀に焦点をあてます。さまざまな伝承を読み解きながら、その歴史的意味を考えてみます。時に対立する意見が出るかもしれませんが、それも楽しんでいただければと思います。</p>

Bコース 会場:大阪大学中之島センター 時間:13:00~14:30

コースNo.	大坂の漢詩を読む 講師:新稲 法子 先生(佛教大学等非常勤講師)(原則第3水曜日)
B-1	<p>この講座では、大坂の今も賑わっている名所、かつては賑わった名所を取り上げた漢詩を読んでいきます。江戸時代後半になると、漢詩文で都市の繁栄がさかんに描かれるようになります。京都や江戸と同じく、大坂の名所もこういった作品の中に取り上げられ、その個性や魅力が記されています。大坂在住の詩人はもちろん、大坂を訪れた詩人の作品も数多く残されていますが、その中から、今年度は『大阪繁昌詩』を遺した田中金峰の作品を中心に、当時の名所図会や地誌などを参照しながら、詩語で綴られた大坂の風景を味わいます。名所にはしばしば和歌や俳句が伝わっていますが、漢詩もそこに加えて、大坂の豊かな文化を楽しんでいただきたいと思います。</p>

Cコース 会場:大阪市立総合生涯学習センター 大阪駅前第2ビル5階 時間:13:30~15:00

コースNo.	諸子百家を読む 一さまざまな孔子像一 講師:黒田 秀教 先生(大阪大学非常勤講師)(原則第2土曜日)
C-1	<p>諸子百家は、ある時は孔子を批判し、ある時は孔子に仮託して、自分の思想を語っていきます。そこに登場する孔子は、『論語』の孔子とは一風変わった、あなたの知らない孔子です。そこで、本講座では諸子の語る孔子像に着目しながら、諸子百家の思想を味わっていきます。前期は儒家の『孟子』『荀子』、道家の『莊子』『列子』を、後期はアンチ儒家の『墨家』『韓非子』、そして諸子百家の終着駅『呂氏春秋』を読みます。</p>

Dコース 会場:大阪市立総合生涯学習センター 大阪駅前第2ビル5階 時間:10:30~12:00

コースNo.	論語を読む 講師:矢羽野 隆男 先生(四天王寺大学教授)・佐藤 一好 先生(大阪教育大学教授)(原則第4日曜日)
D-1	<p>古典としての『論語』に様々な角度から光を当てて選読します。昨年度に引き続き、前期は矢羽野が『論語』の思想を、後期は佐藤が文学との関係を中心に講じます。儒教に関する学説、『論語』注釈史上の問題、史伝中の『論語』の言葉、孔子の生涯を描く日中の文学作品、通俗文学に対する『論語』の影響、等々を取り上げる予定です。わかりやすく、楽しんでいただける講義を目指します。「子曰く、之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず」(雍也篇)。私たちの拙い講義を通して、受講生の皆さんが一人でも多く、『論語』の多様な世界を知り、そして好み、楽しんで下さることを願っています。</p>

前期	4月-7月	矢羽野 先生「論語の思想」
後期	9月-12月	佐藤 先生「論語と文学」

■ 注記 ・日程は原則曜日です。詳細につきましては、記念会ホームページにてご確認下さい。
・令和2年1月現在での会場・日程・講師でご案内しております。都合により、講座内容、時間が変更になることがあります。ご了承ください。

(財) 懐徳堂記念会賛助法人 (50音順) <令和2年1月現在>

あいおいニッセイ同和損害保険(株)	SMBC日興証券(株)	近鉄グループホールディングス(株)	塩野義製薬(株)	ダイキン工業(株)	日本製鉄(株)	ヒガシマル醤油(株)	(株)遊文舎
(株)あおい	国立大学法人大阪大学	(株)近鉄百貨店	(株)自然総研	(株)ダイセル	日本電気(株)	(株)福永懐徳堂	(株)読売新聞大阪本社
(株)朝日新聞社	大阪大学出版会	(株)きんでん	住友化学(株)	(株)大丸松坂屋百貨店	(株)日本板硝子(株)	丸一銅管(株)	(株)りそな銀行
朝日放送テレビ(株)	NPO法人大阪府総合コミュニティカレッジ	(株)ケーエスアイ	住友商事(株)	(株)竹中工務店	日本生命保険(相)	三井住友カード(株)	レンゴー(株)
(株)石原時計店	(株)大林組	(株)ケイエス	住友生命保険(相)	辰野(株)	(株)日本総合研究所	三井住友海上火災保険(株)	(株)ロイヤルホテル
(株)イトーキ	(株)カネカ	(株)清油組	(株)住友倉庫	東洋紡(株)	ハウス食品グループ本社(株)	(株)三井住友銀行	
稲畑産業(株)	(宗)華嶋春日神社	ココヨ(株)	住友電気工業(株)	凸版印刷(株)	パナソニック(株)	三井住友信託銀行(株)	ほか、5社
栄光ホールディングス(株)	(株)関西みらい銀行	三機工業(株)	浄土宗 誓願寺	長瀬産業(株)	阪急電鉄(株)	三井住友ファイナンス&リース(株)	
(株)エイチ・アイ・エス	(株)紀伊國屋書店	サントリホールディングス(株)	(学)清風学園	中西金属工業(株)	(株)ヒガソントウエンティワン	(株)三菱UFJ銀行	